令和８年度

北区立 児童発達支援センター

訪問先施設からの事業所評価の集計結果(公表)



公表日：令和８年11月20日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3	2		時折、療育施設の視点に立った助言と感じることがある。保育園は集団で生活をする場なため、常に1対1の関わりができるわけではない。そのようなアドバイスは取り入れにくい。	各園の保育方針や集団生活の実態、職員の配置基準を十分に踏まえ、日常のクラス運営の中で担任の先生が無理なく取り入れられる具体的・現実的な支援方法の提案を心がけてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1		私たちの知らない知識や専門的な子どもとの関わり方を教えてくださりありがとうございます。教えていただく中で、子どもを無理に座らせたり、連れてきたりするような対応は保育園では難しい。	専門的な知見を評価していただいたことに感謝するとともに、療育施設の手法をそのまま求めるのではなく、園の先生方が日頃おこなっている工夫や集団での関わり方に活かせる助言を協働で検討してまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	1		保育園での困りごとに耳を傾けて一緒に解決をしようというよりも、保護者の要望を伝えられていると感じる場面がある。	保護者様の要望を一方的に伝達する形にならないよう配慮し、まず園の先生方が現場で抱えている困り感や、巡回指導の先生の指導を踏まえた園の取組に丁寧に耳を傾け、園と対話を重ねながら一緒に解決策を見出す姿勢を徹底してまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	4		対象のお子さんによっては、保育園では取り入れられないアドバイスや事業所からの要望を伝えられることがある。	限られた訪問回数の中でも園生活に真に役立つよう、日頃の様子を共有いただく工夫や、園の状況に即した実践的な手立ての共有を進め、課題の軽減に貢献できるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	4			訪問やヒアリングが担任の先生方の過度な業務負担とならないよう連絡調整や時間設定に細心の配慮をおこない、園と事業所がお互いに支え合い信頼し合える連携体制を築いてまいります。



その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・いつもお世話になっております。当該児本人のことだけでなく、彼が今属している"集団"の中で、無理なく園生活が送れるように環境（周りの子供達の様子や担任等の言葉かけなど）も含めてアドバイス頂けることに毎回感謝しております。今後も、子供達のために連携をしていけたらと思っております。何卒、ご指導・アドバイスのほどよろしくお願い致します。 ・いつもありがとうございます。具体的な助言がとても参考になっております。 ・いつもお世話になっております。要支援児への取り組みやご対応に感謝申し上げます。 このところ、当園でも療育施設や貴施設などとのやりとりが増え保育現場としましては少々困惑している現状がございます。保育園として支援児にできる事は巡回指導の先生のご指導の下計画的に行っております。 率直な意見を申し上げますと、各施設様とのやりとりに時間を作るのに現場は苦労しております。療育施設様は見学をしたのち担任に園でのお子さんの様子のヒアリングが多く、クラスに2、3人療育に通っているお子さんがいるとそれぞれへの対応で担任への負担がかなり大きくなってきております。 貴施設の場合はアドバイスを頂いてもこちらが実際に行っている対応と差異がある事もあり、せっかくの訪問支援という制度が最大限に生かし切れていなく心苦しく思っています。 今後も支援の必要な子に対する貴施設の大事な取り組みがより実り多くなるよう願います。 ・昨年度まではお子さんの特性に対して保育園とお子さんが困っていることを一緒に考え、改善策を提示してくださっており、とても心強い支援でした。今年度は当園で利用しているすべてのお子さんに対してというわけではないですが、保護者や事業所からの要望を伝えられていると感じる支援があります。療育施設で行っている援助がすべて保育園でできるというわけではありません。保育園は集団で生活する場であり、国の配置基準に則って職員が配置されているということを踏まえた上で、お子さんたちへの支援方法を一緒に考えていただけると、その子の園生活や職員の関わり方に活かせると思います。	日頃より訪問支援の受入れと温かいご協力、また貴重なご意見をいただき心より感謝申し上げます。 集団生活の中での環境設定や関わり方に対する評価をいただく一方で、担任の先生方への連絡調整等の業務負担、また園の配置基準や集団保育の実態と助言内容との乖離についてのご指摘を真摯に受け止め、以下の通り改善に努めてまいります。 ●集団生活の実態・配置基準に即した支援への見直し 園の職員配置基準や集団生活の前提を十分に踏まえ、療育目線の助言や保護者様の意向伝達に終始することなく、日常の保育・クラス運営の中で担任の先生が無理なく取り入れられる具体的・現実的な手立てを園の先生方と一緒に考えてまいります。 ●連絡調整・ヒアリング時間の負担軽減と巡回指導との整合性 複数の支援児が在籍するクラス等での担任の先生方の過度なご負担に配慮し、事前ヒアリングの簡潔化や書面・ICT等の活用による連絡調整の工夫を進めます。また、園が受けておられる巡回指導や園の支援計画との整合性を保ち、現場に混乱が生じない連携を心がけます。 ●地域の中核拠点としての協働体制の推進 温かいお言葉をいただいた環境面・関わり方のアドバイスをさらに充実させるとともに、公的センターとして園の取り組みや先生方の工夫をしっかりと受け止め、園・家庭・関係機関が互いに信頼し合ってお子さんを育んでいけるネットワークづくりに努めてまいります。

